

# 第86回（平成29年度第3回）番組審議会議事録

1. 開催日時：平成29年9月22日（金）午前10時00分～11時30分

2. 会 場：西宮市役所東館8階 805会議室

3. 委員の出席：

委員総数	：7名	
出席委員数	：5名	
放送事業者側出席者	代表取締役社長	：1名
	営業・企画部長	：1名
	西宮市広報課	：1名

4. 議題

番組内容についての審議

「聞いてなるほど！西宮市政」 毎週木曜 20:00-20:20

5. 議事概要

社長より審議をお願いする等の挨拶。事務局より委員総数7名中5名の出席で、過半数出席、会は有効に成立している旨の報告。その後、議題に沿って各委員から意見をいただき、必要に応じて放送事業者側が説明・回答しながら進行。

6. 審議内容

番組の審議

委員長：お聴き頂いた番組について審議に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言願いたい。

委 員：だいたいこれ（台本）に沿って進行しているのか？

事務局：基本的には今回の市長もそうだが市の職員の方にゲストに来ていただきインタビュー形式で進めて行くのが中心となっている。西宮市広報課の作成した台本に沿って収録している。その収録した時間によって後半のコーナーの時間を削ったり割愛したりと調整をしている。

委 員：事前に広報課と綿密に打ち合わせをしているのか？

事務局：台本に関しては広報課の方で前もって打ち合わせをして頂いている。特に市長の原稿に関しては。

広報課：広報課長と市長である程度打ち合わせはしている。台本自体はざっくりとど

んな話をするかを記載する程度。基本的には市長自身の言葉でしゃべって頂いている。

事務局：当日に話す内容は変わる事もある。

広報課：大筋の内容は前もって打ち合わせをするが、当日は話の流れなどを踏まえて台本とは違う話をする事もある。

委員：市長の言葉となるとやはりぶっつけ本番というわけには行かない？

事務局：そう思う。

委員：この番組は始まってどのくらいになるのか？

事務局：今のスタイルになってからは4～5年。それ以前からも若干スタイルは違うが放送している。

委員：パーソナリティはずっと担当されているのか？随分慣れているように感じた。

事務局：今のスタイルになってからは現パーソナリティが担当されている。フリーアナウンサーとして経験も豊富でベテランなので慣れていると思う。

委員：市長さんは自分の言葉でしゃべられるので聞いていてスーッと入ってくる。聞き易い。分かり易く説明してくれる。

委員：導入部分にアニメ（西宮が舞台になっているアニメ）の話が出てきた。私にはさっぱりわからないが、市長はそういうのもちゃんと把握してしゃべっていた。

社長：私もこの手の話はわからない。

委員：市長が出演していたが、前の市長も出演されていたのか？また、こういう市長インタビューはずっと前からあったのか？

事務局：私の知る限りでは山田元市長の頃からやっている。

委員：これは市の提供番組か？

事務局：はい。

委員：例えば市長選挙の時などはどうしている？

事務局：市長選挙の時期は出演を控えてもらっている。

委員：広報課の方にお聞きしたいが、テーマや話したい内容は市長側からリクエストがあるのか？若しくは広報課が用意されるのか？

広報課：広報課では市政ニュースも作っている。その内容からどれを話すかなどを市長と調整している。より旬のネタで市民の皆様にお伝えしたいネタを選んでいる。

委員：パーソナリティは大変慣れた良いインタビューをされている。実にお上手だと思う。市長も大変お話が上手で聞き易い。これを聴いた方は市長のファンになると思う。作りとしても大変いい番組と思う。

社長：17日に東鳴尾地区で国民保護のミサイル避難訓練があった。最後までいたがそこには市長も1ギャラリーとして来られていた。最後に挨拶を振られて

いたが実に上手かった。

宇 澤：これは西宮市提供の番組だが、芦屋市はこういう番組はやっていないのか。

社 長：まだ今はない。芦屋市長とも直接お話をさせてもらいそういうお願いもしている。緊急情報伝達手段もそうだがもっとさくら FM を活用して欲しい。

委 員：芦屋市はケーブルテレビでそういう番組はやっている。山中市長も話は上手。

社 長：担当しているパーソナリティも流石だと思う。パーソナリティは過去に別番組に出演したのを聞いた前広報課長が是非この番組に起用したいとの事で採用した。今までさくら FM にはあまり馴染みのない人材だったのでどうかと思っていたが、今では安定した番組になった。

委 員：硬軟織り交ぜた番組になっているがこれも市長の意向か？

広報課：細かい内容の話は市長とはしない。基本の構成などは広報課内で考えている。

委 員：この市長の話は本当によく構成されていると思う。

社 長：これは広報課職員の仕事か？

広報課：市長原稿の構成に関しては広報課長がやっている。後半の「今週のにしのみや」などのインフォメーションコーナーは職員が担当している。

委 員：この番組は市のホームページでも聴けるようになってきているが、市民の方からの反応などはあるか？

広報課：あまりない。ラジオだからというわけではなく市政ニュースなどでもそこまで賛否の声をもらう事は少ない。全く無いわけではないが。

委 員：ホームページで聴ける分はどれだけの方が聴いてるといえるのか？

広報課：数は取れると思う。

委 員：さくら FM の方には直接何かリスナーの反応はあるか？

事務局：基本的にインフォメーションの番組なので、これに対して何かメッセージを送るような物ではないと考えている。ただそれでも現市長が就任された頃は「市長がラジオに出る」と SNS が盛り上がった事もあった。今はもう4年目なのでそこまでの盛り上がりは確認していないが。

委 員：この番組はさくら FM 側で手を入れたりするのか？

事務局：弊社の意思では手を加えることはない。同席している広報課職員の指示で編集をする。

委 員：行政と市民を繋ぐ大事な番組だと思う。

社 長：弊社としてもある意味「親会社」の社長でもある市長にこのさくら FM を認識してもらえるのはありがたい事と思っている。

委 員：これは市長以外は市議の方が出たりするのか？

事務局：市長と市の職員の方が出演されている。市議会議員が出ることはない。それぞれの担当部署の方がその時期や季節にあった専門分野のお話をインタビュー形式でお答えいただいている。ちなみに今週はまちたび西宮という観光キ

キャンペーンの話を観光課の方にお話ししてもらっている。

社 長：「聞いてなるほど西宮市政」ということで西宮市が市民の方にアピールしたい  
とが中心になっているので、どうしても市の職員の方がメインになる。市長  
が出てくれるのはもちろん有りがたいが、副市長や局長クラスの方にもご出  
演いただきさくら FM をもっと認識し何かあったらさくら FM を活用しよう  
と意識を持ってほしいと思う。

委 員：これは市長がスタジオに来られるのか？それとも市長の所に行くのか？

事務局：毎月スタジオにお越しにいただいている。

社 長：市長がいつ来られるかを担当から聞き、可能な限りその時は会えるように事  
務所にいるようにしている。

委 員：さくら FM でしか出来ない番組と思う。他の局では出来ない差別化されてい  
て良い番組と思う。

議長は委員にその他特に意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨  
を述べる。

社長は審議会で意見を頂いた事への謝意を述べ閉会にあたって挨拶を行った。事務局  
は次回の審議会は平成 29 年 11 月 20 日午前 10 時 00 分と決定した。議長は午前  
11 時 30 分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため議事録を作成し委員  
長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法  
近畿総合通信局への提出が完了次第「さくら FM」のホームページ（URL  
<http://sakura-fm.co.jp/>）にて掲載。

平成 29 年 9 月 22 日  
さくら FM 株式会社